

マンジャロについて

マンジャロは GIP/GLP-1 受容体作動薬というお薬で、週 1 回の注射です。

元々糖尿病治療薬として使われ、体重減少が副作用として生じることが分かり、その作用をダイエットに利用した薬です。

GIP/GLP-1 は血糖値を下げる働きのあるホルモンで、膵臓に働きかけてインスリンの分泌を促進し、血糖値を低下させます。消化管の動きをゆっくりにするため、少ない食事量で満腹感と満腹感の持続を感じ、食事量のコントロールが期待できます。また血糖値が高いときにだけ働くため、副作用である低血糖が起こりにくいと言われています。なおマンジャロは日本では糖尿病治療薬としてのみ承認されており、痩身治療薬として許可を受けたものではありません。

週 1 回 2.5mg から開始し、4 週間注射した後、週 1 回 5mg の維持量に増量します。症状により 2.5mg を継続することも可能です。当院では 5mg より多い量は取り扱っておりません。治療期間は 6 か月を目安としてください。

■ **費用** 納入価の上昇などにより、今後変更になる場合があります。

- **初回受診時にかかる費用**

血液検査(血糖値の検査) 1,500 円 税込

マンジャロ 2.5mg 2 本セットの場合 12,000 円 税込

マンジャロ 2.5mg 4 本セットの場合 21,600 円 税込

- **2 回目以降の受診時にかかる費用**

マンジャロ 2.5mg 2 本セットの場合 12,000 円 税込

マンジャロ 2.5mg 4 本セットの場合 21,600 円 税込

マンジャロ 5mg 2 本セットの場合 21,000 円 税込

マンジャロ 5mg 4 本セットの場合 39,600 円 税込

- マンジャロの処方は女性のみとさせていただきます。
- 自費診療となります。
- マンジャロのみの処方の場合、診察料はかかりません。
- 同時に婦人科の診察や処方を希望される場合は、診察料が発生します。
- 初回受診時に血液検査を行います。
- 医師がさらに詳しい血液検査が必要と判断した場合は、追加の検査料が発生します。またその場合、処方の後日になります。

- 問診や血液検査の結果により、医師が処方是不適切と判断し処方できなかった場合には、診察料・検査料のみいただきます。
- 健康保険証もしくはマイナンバーカード・診察券を持参してください。

■ 受診方法

マンジャロの処方は、産婦人科の診療時間内で行っております。マンジャロの処方をご希望の方は、医師の診察が必要になります。お電話もしくは[インターネット予約](#)より「来院目的：自費診療→ダイエット薬」でご予約ください。

■ 治療を受けられない方について

以下に該当する方はマンジャロを処方できません。

治療中の病気がある方は、主治医にご相談ください。

- 18 歳未満、70 歳以上の方
- BMI(体重kg÷身長m÷身長m)が 20 kg/m²未満の方(体重測定があります。)
- 他の GLP-1 製剤を使用している方
- 手術の予定がある方
- 糖尿病の方
- 糖尿病薬、ワーファリンを服用中の方

- 避妊目的でピルを服用中の方
- 膵炎、甲状腺疾患、イレウスの既往のある方
- 重度の胃腸・心機能・腎機能・肝機能の障害のある方
- 透析療法を受けている方
- うつ病、摂食障害などの精神疾患をお持ちの方
- 妊娠中、妊娠予定、授乳中、または妊活中の方

(投与後 1 か月は避妊が必要です)

- 低血糖を引き起こす可能性が高い以下の状態の方

栄養状態不良、食事摂取量の不足、不規則な食事摂取、長時間の激しい運動、

過度のアルコール摂取

- その他、医師が不適切と判断した方